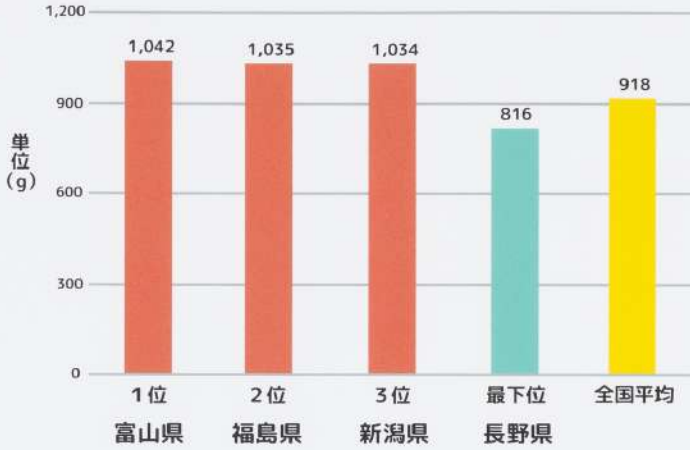


生活でゴミはどのくらい出るの？

設定理由：日本ではゴミの焼却処理や海洋ゴミなどのゴミ問題がよく話題となっている。ゴミの量がなぜ減らないのか原因を調べてみようと思った。

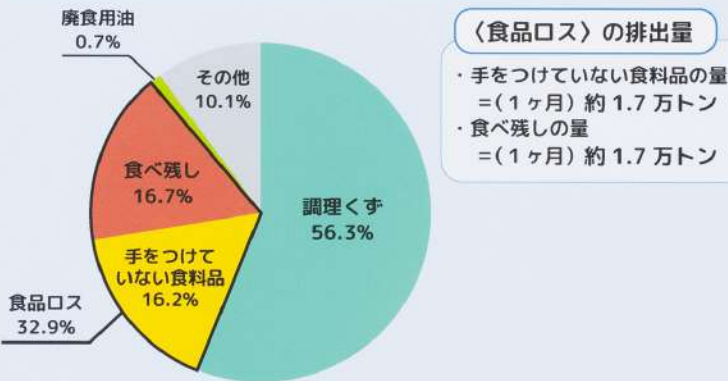
都道府県別 1日1人あたりのゴミの排出量



富山県のごみが多い原因

富山県は共働きの割合が全国でも高いため、惣菜や冷凍食品などゴミが多く出る食材を購入する傾向がある。消費支出が全国でも4番目に高いことから、富山県民はサービスではなく食べ物にお金を使う傾向にある。

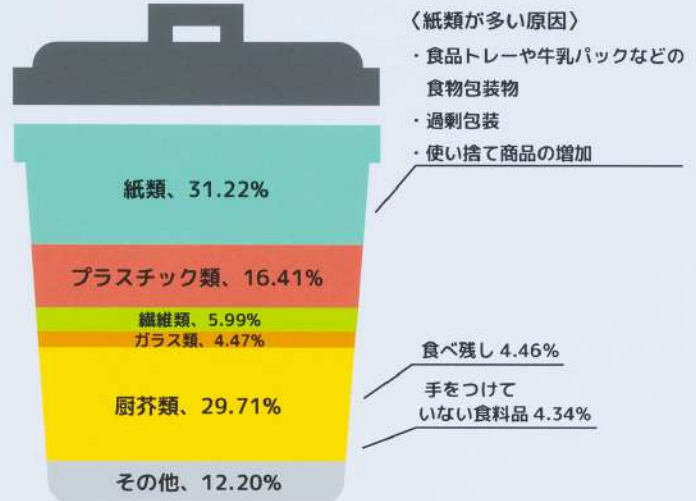
普通ごみに含まれる厨芥類の排出状況



〈食品ロス〉の排出量

- ・手をつけていない食料品の量
=(1ヶ月)約1.7万トン
- ・食べ残しの量
=(1ヶ月)約1.7万トン

家庭系ごみの組織率



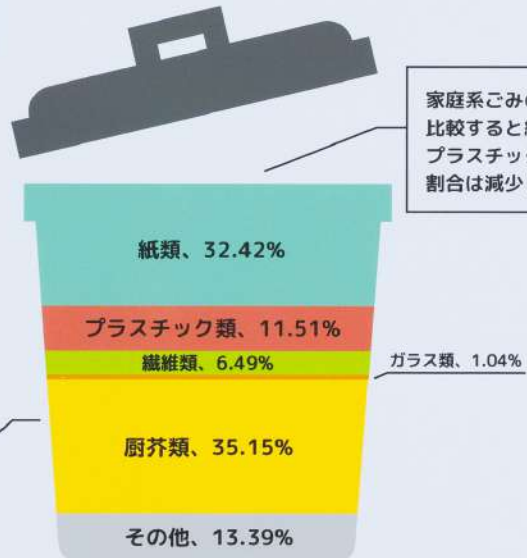
〈紙類が多い原因〉

- ・食品トレーや牛乳パックなどの食物包装物
- ・過剰包装
- ・使い捨て商品の増加

食べ残し 4.46%

手をつけていない食料品 4.34%

普通ごみの組織率

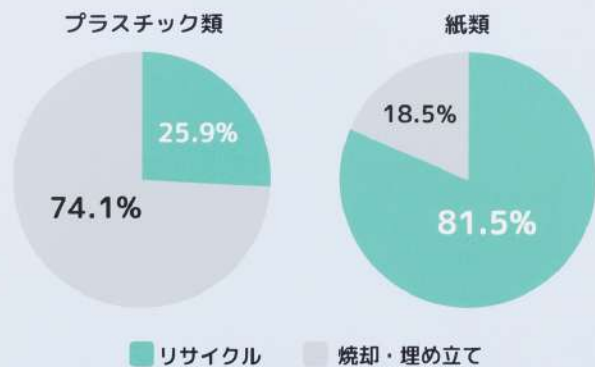


家庭系ごみの組織率と比較すると紙類の割合が増え、プラスチック類や食品ロスの割合は減少している。

リサイクル率

リサイクル率 = リサイクルされるごみの量 / 総ごみ排出量

日本のリサイクル率は2020年段階で、**20.0%**とされている。



〈原因〉

- ・ゴミ処理方法が「焼却処理」に依存していること。
- ・生ごみを燃えるごみとして扱っている自治体がほとんどなこと。
- ・埋立処分場が少ないこと。

〈まとめ・自分達にできること〉

生活の中で多く出るゴミは段ボールや包装物などに使われている紙類が多いことがわかった。原因はネット通販などが普及したことで段ボールや過剰包装が増加したことや海洋プラスチックゴミの対策で紙ストローや紙のバッグが増えたからだ。また、日本の総計リサイクル率は20%しかない。原因は焼却処理に依存してゴミ処理をしていること、埋立処分場が少ないことだ。自分達が生活の中でできることは、必要のないものを買わない、もらわない、エコバッグを利用してビニールや紙のバッグを使わないというゴミそのものの発生を抑制する。マイバッグやマイボトルなどの詰め替え商品の購入で、ごみの発生量や資源の使用量を減らすことでゴミの排出量を抑える。リサイクルショップなどを活用することで再利用する。ごみの分別を徹底することでリサイクル活動に貢献することが挙げられる。今回の統計グラフ作成活動を通して学んだことを生かして対策していこうと思った。